

だいが小学校がフォア文庫の会の選ぶ「朝の読書応援ブック」を受賞

だいが小学校が、児童専門の4社でつくるフォア文庫の会(岩崎書店・金の星社・童心社・理論社)が選ぶ平成19年度の「朝の読書応援ブック」寄贈の対象に選ばれ、11月15日にだいが小学校体育館で贈呈式が行われ、図書100冊が寄贈されました。

フォア文庫の会は、毎年、全国から3校を選んで図書の寄贈を行っており、だいが小学校は授業開始前の朝読運動や全国に先駆けて行っている家読運動の取り組みが評価されました。

贈呈式に訪れた岩崎書店の岩崎弘明社長は、「だいが小の取り組みを応援したい。ますます本に親しんで、いろんな夢を持ってほしい」と述べ、賞状と図書目録を児童代表に手渡しました。

続いて開かれた読書集会では、量2枚分もある超大型紙芝居の披露、読書に励んだ児童の表彰、友達に薦めたい本の紹介や親子で感動した本の感想発表などが行われました。

また、PTA 講演会では、具体的な家読の取り組みが紹介され、トーハン広報編集室長で「朝の読書推進協議会」事務局長の佐川二亮さんが、「家読で読みケーション」と題して講演会を行いました。

